

水戸市女性情報誌

びよんど

Beyond gender

2007.3 VOL.21



※びよんどの由来は？ Beyond gender(性差を超えて)の思いが込められています。ジェンダー(gender)とは、社会的、文化的につくられた性差のことです。

特集

「ヒューマンライフシンポジウム2006」

水戸市



男女平等参画推進月間事業 ヒューマンライフシンポジウム2006

特集

夢のかたちから創造へ

～ことばと心のハーモニー～

平成十八年九月三十日(土)、男女文化センターびよんどもにおいて、「ポスト日本女性会議2001〜みと」に企画・運営をお願いして、シンポジウムを開催しました。阿木燿子さん(作詞家)と田辺昭雄さん(茨城放送アナウンサー)をお迎えして、充実した職業生活・家庭生活を送るための視点について語っていただきました。

＊基調講演

自分らしく生きるために

本当に今日はたくさんの方においでいただきましてありがとうございます。

幼い頃の私は引つ込み思案で、家の中で人形の洋服を縫ったり、母の手伝いをしたりしながら、人とあまり接触することなく一生過ごせたらいいのと思っていました。大人達に「大きくなったら何になりたいの」と聞かれても、「お嫁さん」という程度で、まさか「この世界に入り、こういう仕事をする」とは夢にも考えておりませんでした。ただ、心の片隅に、自由になりたいという思いは持っておりまして。何に対して自由になるのか、自由というものが何なのかもわからないまま、解放された自分になりたくない。そのくらい、人と接するのが苦手な人とうまくコミュニケーションが取れない自分いらだちでいて、そこから解放されたいと願っていたのだと思います。

そんな私がここまでいられた一番のきっかけは、やはり主人との出会いでございます。彼は本当に人を引きつけるオーラを持った人で、それにすぐく触発されて、いろいろなことを彼から盗ませてもらったというか、たくさんもの学んだ気がいたします。

私達は26歳で結婚して今年で35年経ちます。自分達が一体何を目標に、どこに行き着こうとしているのか、そしてどんなことを喜びと感じているのか、そんなことを今も二人で毎日話し合います。そんな日常の中で、自由になるって何だろう、自分っていったい何者なのだろうという問いかけを絶えずさせられます。この時も、詞を書くということとは、最終的には自分と対面しなくては行けない。

いろいろなタイプの詞を書き、さまざまな仕事に携わりながら、私が今感じることは、自分は自分を本当の意味で知らない、つまり未知の部分がたくさん持っているということと、皆様はご自分をどの程度知っていらっしゃるでしょうか。自分の中にまだ見えていない部分がたくさんあって、共存共栄というのも変ですが、心の中に、未知なるものを住まわせているというところをお考えになったことがあやうでしょうか。

私は、あるときからもう一人の自分を育てるという作業をするようになりました。例えば詞の打ち合わせに行きます。ここで大切なことは、よく聞くということと、自分の言いたい事よりも相手が何を望んでいるかを聞く。そしてその中でヒントを得て家に帰り、寝る前に、私は目をつぶってもう一人の私に話しかけます。「もう一人の私さ

ん、聞いていた?今日。打ち合わせた仕事のこと、よろしくね」そうしますと、もう一人の私は勤勉で、24時間体制で考えてくれます。

もう一人の私に対する信頼を持つということとは自分を信頼することですが、微妙にもう一人の私というのがミソで、締め切り間近になりますと、もう一度心をノックします。「コンコン、」そろそろやらなきゃいけないけど、考えていてくれたわよね」そして机の前に座ると、私から私に渡されるギフトという感じで、ふっと頭に言葉が浮かびます。それを書き留める。だから私は、作詞をするとき、もう一人の私との連係プレーがうまくいくと苦労をしません。逆に苦労してひねり出したときは、苦労の跡が出て理屈っぽくなってしまい、詞が飛べないというが、翼を持ってない。でも、もう一人の私が考えてくれたものは面白く、エネルギーに満ちていることが多いようです。

多分皆様は自分を一人だと思っていちゃる。たった一つのキャラクターだと信じていらつしゃる。でも私は、人間はもつと玉虫色をしていて、さまざま可能性を秘め、それが瞬時にぐるぐる回っているものだと思います。それに気づいて、その部分にスポットを当ててやれば、また新しい発見があるはず。



阿木 燿子
(作詞家)

私が申し上げたいのは、何事も無意識にやっていると手に入らないということ。かなり意識して、自分の中をまです密観的に見る訓練をする。私ってこうなのよと大雑把にぐちゃぐちゃしない。自分の中の未知な部分を、金の鉱脈を探すように見る。そうすると自分の可能性が無限なことに気づきます。

自分自身の本当にしたいことは何ですか。本当に欲しいものは何ですか。何を望んでこの世に降りてきましたか。守りたいものは何ですか。人は非常時にならないと案外さういふことに気がつきません。でも、非常時に気がついたのでは、もう遅い。それで死んでしまうのはあまりに残念です。皆様が今日お帰りになつて、お風呂に入りながらでも、考えていただきたいのは、何ごともたった今がそのチャンスの時だということなのです。そし





て、自分の夢は無謀に思えてもあきらめずに、必ず実現させるという強い意志とこつこつとした努力さえあれば、どつどつ形にしてもかなうものだと私は信じております。

フリートーク

田辺 先ほど阿木さんのお話を伺いましたが、まさにヒューマンライフという感じですよ。男がどつした、女がどつしたというところはなく、まさに人間として理想的な形で生きていこうという感じを持っていました。こつこつというのであれば、大きく言えば、世界の平和はすぐ来るんじゃないかという気さえしましたね。いろいろなお仕事をしている中で男だったらみかっと思つ時はないですか。

阿木 一度もありません。逆に男性は大変だなと。泣いてはいけない、頑張らなければと、こつこつ肩ひじを張っていかねばいけないので、そんなにこだわりなくてもいいのと思えますね。

田辺 最近では女性がさまざまな分野に進出していますが、女性にとつてもまだまだ可能性はありますよね。

女性のクリエイティブなエネルギーを生かす

阿木 先ほど世界平和とおつしやいましたが、女性のエネルギーは闘いのエネルギーではなくクリエイティブなものなのに、どつどつもうちよつと女性の社会進出の門戸が開かれないのだからと歯がゆく思つても多いです。出産や育児がネックになるならそれを解消し、社会全体で支援して、女性たちが自分の理想を実現できるこつこつ風にならないとつた

いないと思えます。社会の損失ですよ。

田辺 今日の会場の皆さんは女性が多いですね。女性はこつこつ機会に多く参加して本当に熱心に勉強されている。男性のほうはまだまだ仕事に追われて、男女平等参画どつどつという勉強さえも立ち遅れている気もするんですけど。

阿木 男性は仕事に逃げていく部分があると思います。女性はフットワークが軽くて、こつこつ講演会にも足を運びますが、男性は奥さんが引っ張っていかねば行かない。本当の意味で視野が広がらないかと思つて。

今まで、女性とはこつこつもの、男性とはこつこつもの、これは女性には向かない、男性には向かないというくりがあったと思います。でも、そんなこと言っていたら人生が半分しか楽しめない。だから、まずチャンスが平等にあって、私は生き方としてこれを選ばないといつことがあっていいんじゃないでしょうか。特にこれからは団塊の世代の人達は自由になりますよね。子育てが終わって、自由な時間がたくさん持てるようになったときこそ、何かにチャレンジするチャンスでもあると思つて。

田辺 そつこつ意味では、我々の世代が元気に生活できるつうに頑張らないといけませんね。阿木さんがおつしやったように、「これから」だ。そう思いました。

阿木 本当に「これから」です。この会場の中を拝見しても、どれほどの活力と社会を良くする才能が眠っているかと思つて。お金を稼ぐことはある年齢までしかできないかもしれない。でも、社会に貢献することだったら死ぬまでできる。みんなが当たり前のこと

して助け合いながら生きられればどんなにいい世の中になるでしょう。余裕ができ、まだまだ元気もある中高年以上の人たちのパワーがどれほど社会を豊かにするかと思つてんですけど、こつこつことはあまり言わないで、高齢者が増える世の中が暗くなるみたいにな言われ方は淋しいですよ。

田辺 そつこつですね。2007年問題と言われて、自分もその中に入つていて思つと、明るくないような気がしてしまつて、それではいけないわけですね。

自分が成熟すれば 他者への思いやりも増える

阿木 助け合いといつとすぐ言葉が軽いですが、でも本当にそう思います。まずは男女の連帯がある。また、年長者が若い人をいろいろサポートしてあげる。子育てが大変な若い夫婦がいるなら、別に親戚でなくても、助けて共に育てるくらいの社会の枠組みができればいいですよ。社会としても成熟が一つのキーワードだと思つて。私たちが成熟すれば他者に対する思いやりも増え、社会も潤つていくのではないしょうか。

田辺 なるほど、成熟がゆか。

阿木 はい。人間は命には限りがあることを前提として生きていくのですか、その中で精一杯生き切るといふ感覚が必要だと思つて。

田辺 阿木さんが作詞、竜童さんが作曲と、コンビでやることもあると思つてますが、仕事の現場でのやり取りは。

阿木 ぶちんと切れる寸前まで言い合つことも希にあります。でも、こつこつときの意見の違い、気持ちの行き違いは、出来上がった作品を依頼主に提

出して喜んでいただけると、本当に跡形もなく消えてしまいます。産みの苦しみですよ。

田辺 そこがまた違うんじゃないかな。理想的なご夫婦という感じですね。

阿木 私たちのケースは、妻の役割と同時に、仕事におけるパートナーシップも大きいので、そこがちょっと変形しているかもしれません。百組の夫婦があれば、百の形があつていいと思います。

田辺 本場にいろいろな分野で活躍しているつしやるわけですが、これからこつこつどつどつ何か。

阿木 今やつていっていることを広め、深めつ、何かチャンスを頂いた時、またそれをやってみたく思つた時にはチャレンジしたいです。私は人間は年を重ねる毎に幸せになるべきだと思つています。寂しい老後ではなく、みんな楽しんでたくさん見つけたいなって。そのためにも仲間は大切ですよ。いろいろな活動に積極的に参加する、まずはやってみるこつこつですよ。

田辺 行動ですね。どつこも一歩が出ないといつ自分自身もいるのですが、その辺も今日を機会にこれから頑張りたいと思つて。ありがとうございます。



田辺 昭雄
(茨城放送アナウンサー)



男女平等参画社会づくり功労賞の受賞者が決まりました

水戸市では、本年度より、男女平等参画社会の形成に向けて、あらゆる分野において積極的な取り組みをしている個人や団体、事業所を表彰する「男女平等参画社会づくり功労賞」を創設しました。選考委員会において受賞者を決定し、ヒューマンライフシンプジウム2006の席上で表彰式を行いました。

【個人の部】 静間 敏子さん

(水戸市千波町)



静間 敏子さん

静間さんは長く茨城県婦人会館の理事長として会館の運営や事業の推進に貢献され、水戸市女性行動計画策定委員会委員長、平成十三年に開催した「日本女性会議2001みと」の実行委員会会長などを務めました。また、男女平等の視点から「茨城県第一回婦人のつばさ」の团长として海外研修に参加、以後国際交流の推進にあたっています。現在は「ポスト日本女性会議2001みと」の顧問などを務めるかわら陶芸グループ「釉友会」を主宰、陶芸教室を開くとともに、あけぼの学園などの障害者施設の陶芸指導にも力を注いでいます。

このような数々の功績が認められ、平成十四年には内閣府男女共同参画社会づくり功労者表彰、平成十五年春の叙勲では勲五等瑞宝章を受章しました。

【団体の部】 水戸女性フォーラム

(荘司満智子会長)



中心市街地クリーン作戦

水戸女性フォーラムは平成五年、主催の女性大学の卒業生の有志により結成されました。以来「人にやさしいまち まちにやさしい人へ」をスローガンに学習会、研修会、各種ボランティア活動を通して、まちづくりや男女平等参画社会の実現に取り組んでいます。水戸市内の公共トイレや学校トイレへの提案、銀杏坂公共トイレでの花輪ボランティア、中心市街地クリーン作戦、梅まつり期間中の観光ボランティアなど積極的に活動、また、日頃から「まちの駅みと」の協力団体として地域振興にも参画しています。

平成九年には茨城県男と女・ハーモニー功労賞、平成十六年には水戸観光協会観光事業功労賞を受賞しました。

【事業所の部】 茨城オート株式会社

(竹内雄次取締役社長)



鈴木 昇子さん

茨城オート株式会社は、男女にとらわれない採用、女性の就業環境の整備が評価されました。産休・育休・介護休暇の取得については積極的な活用を推進し、休暇後の職場復帰も違和感なく行なわれていること。タクシー・バスの運転手の採用については男女の別なく随時行ない、受け入れ態勢も整備されています。

現在養護学校のスクールバスを運転している鈴木昇子さんにお話を伺いました。

入社当時、女性の運転手は一人だけでしたが、職場の人たちが皆親切で、アドバイスが欲しい時に何でも遠慮なく聞けたのがとてもありがたかったそうです。「何事にも挑戦する気持ちが大事だと思えます。自分からも積極的に



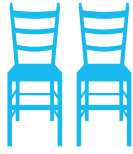
周囲にとけ込むように努めました。一番重要なのは安全ですから、一にも二にも点検です。先の見通しを立てた慎重な運転を心がけています。養護学校の生徒さんは穏やかで純粋なので励みになります」とのこと。

もともと運転が好きで、人と話をするのも好きだという鈴木さん。「このお仕事に合っているんですね」という質問に「合っていますねー」と即答された時のさわやかな笑顔からは自分の仕事に対する自信と運転のプロとしての誇りを感じました。

お話を伺う間にも、明るく活気のある職場の雰囲気が伝わってきて、女性が働きやすい職場は、誰にとっても働きやすい職場なのだと改めてよくわかりました。

女性情報誌「びよんど」 表紙の10年

～男女平等参画推進月間事業～



創刊10周年を迎えた女性情報誌「びよんど」。創刊時から表紙画を手掛けてきた七字純子さんの原画を集めた展覧会を、平成18年9月9日（土）から10月1日（日）まで、見和図書館と男女文化センターびよんどで開催しました。



展示されたのは、柔らかな色彩と優しいタッチで各号のテーマを表現したパステル画20点。近作3点には赤やオレンジ等の暖かい色彩が多く使われています。「子どもが生まれてから赤が好きになりました。自分の幼少時とも重なり、懐かしさを感じます」と七字さん。来場した皆さんは、原画でこそ伝わる作者の息づかいとそれぞれの作品に添えられたテーマに見入っていました。ちなみに今号の表紙は、「男女がそれぞれきちんと自立し、輝き、家庭や社会を創ることが理想」というイメージで描かれたものです。木々に止まる鳥たちも飛び鳥たちも、それぞれいきいきと暮らしているようです。

手をつなごう 男女一緒に 未来のために

平成十八年度水戸市男女平等参画推進月間標語

男女平等参画映画祭 「森の中の淑女たち」

～男女平等参画推進月間事業～



平成18年9月9日（土）に国際交流センターにて開催した映画祭には、80名を超える方々が来場し、盛会裏に幕を閉じました。

上映したのは、ドキュメンタリー映画で評価の高い、シンシア・スコット監督の新しい試みによる映画です。

映画に出演した8人の女性は、一人を除いて皆演技経験がありません。脚本はなく、大まかな設定があるだけで、出演者自身の人生経験や自発性によって物語を綴っていくのです。監督は、彼女たちが互いの関係を築き、胸の内を吐露して、自分の過去とこれからの人生に自信と勇気を得ていく様子を丁寧に描き出し、高齢の女性たちの本音やたくましさを見せてくれました。

多くの男性の参加も得て、共に生きる男女として、また今後の自分自身の生き方について考えることのできた映画祭となりました。



谷萩八重子さん（水戸市中原町）が「^{ひと}男と女・^{ひと}ハーモニー功労賞」を受賞しました。



知事から表彰を受ける谷萩八重子さん

平成18年11月27日（月）、水戸プラザホテルで開催された「^{ひと}男と女・^{ひと}ハーモニートップセミナー」の席上において、谷萩八重子さんが「^{ひと}男と女・^{ひと}ハーモニー功労賞」を受賞しました。この賞は、茨城県が男女共同参画社会の早期実現を図るため、男女共同参画について先駆的な功績のあった県民、団体及び事業所に対し、功労賞を授与し、その功績を称えるものです。

谷萩さんは、旧内原町において、女性の社会参画の機会の拡大をねらいとした「レディスセミナー」の開設や、子育て支援のための「乳幼児学級タンポポ」の実施などに貢献したほか、地域に根ざした活動などが評価されました。

「日本女性会議2006 しものせき」に参加して

埴 美代子

「We are ～わからないから信じあう。知らないから支えあう」をスローガンに日本女性会議が平成十八年十月六・七日、下関市で開催されました。私は水戸女性会議のメンバーと一緒に参加しました。

日本女性会議は女性の社会的地位の向上を目指し、市民と行政がパートナーとなり、男女が性差や世代を超えて、共に支えあう社会を築くために開催されるものです。第一回は名古屋、水戸は第18回、そして今回下関は23回目になりました。

日本女性会議の開催を契機に市民一人ひとりが男女平等参画への理解を深め、常に意識しつつ生活することが大切であり、その積み重ねがやがて参画社会実現につながっていくことだと思います。

分科会は、第9分科会「次世代育成支援」に参加しました。主に子育て支援について、やまぐち子育て県民運動推進協議会の活動発表や行政・各種団体・NPO等による発表がありました。支援の方策は、お互い集まりを持ち、情報を発信し、子育ての大切さ、楽しさについて理解を深め、それぞれが何をやるか、何が出来るかを考えることが大切。さらに支援する人たちも「育自」を意識することで良い環境を創りだせるのではないかと思います。交流会では、下関名物の「ぶなぐし」に舌鼓を打ちながら、全国からの参加者と楽しく交流を深め、水戸市の宣伝もしっかりできました。

男の料理教室 ～自分の手で「おいしい!」をつくろう～

平成18年11月18日(土)と25日(土)の2日間、びよんどで、男性や男性を含めての親子、友達、夫婦などを対象として、「男の料理教室」を開催しました。

18日

末岡家畜診療所長の末岡弘行さんの指導のもと、ソーセージ作りに挑戦。小学2年生の息子さんと参加した男性は、「日頃はほとんど料理はしません。ソーセージ作りそのものも楽しかったが、子どもと一緒に料理する機会が持ててよかった」、息子さんは「腸に肉を詰めるのがちょっと難しかったけど楽しかった。家に持って帰ってお母さんとおばあちゃんと食べるのが楽しみです」と、笑顔で話してくれました。



25日

手打ちそば教室を実施。まず、いばらき蕎麦の会の粉川健さんが実演し名人芸を披露。その後各テーブルに分かれて実習に入った皆さんの顔は真剣そのもの。自分で打ったゆでたてのそばの味と香りは格別だったようです。「こねるのも延すのも難しかったが楽しかった。ぜひ今年の年越しそばは自分で打ちたい」という声も聞かれました。

ふだん台所に立たないという方にも、料理の楽しさに気づいていただけたのではないのでしょうか。講座をきっかけに家庭でも腕をふるって、家族や仲間のおいしい顔を見てみませんか。



松田和枝さん



岡部登志子さん



金本節子さん

男女平等参画専門講座

平成十九年二月十日(土)、びよんどで、男女平等参画専門講座を開催しました。この講座は、男女平等参画社会の実現を目指し、さまざまな問題の解決策を参加者の皆さんと一緒に考えるものです。今回は、「人と関わり合って生きる 私たちに、何ができますか」をテーマに、みんなが幸せな人生を送るための、上手なコミュニケーションのとり方を考えました。

茨城大学教授の金本節子さんの講演「見えないルールを探そう！ 内なる異文化と日本人のコミュニケーション」のあと、家庭、職場、地域という三つの分科会に分かれ、それぞれの場所におけるコミュニケーションが関係する問題について意見交換を行いました。各分科会でアドバイザーとして指導をしたのは、金本節子さん、陶芸のお店きらら館経営の岡部登志子さん、NPO法人ゆりの会代表の松田和枝さんです。これまでの経験、目標や夢などをもとに活発な意見交換をし、家族の絆、仕事のあり方、地域社会とボランティアなど、個人や社会全体が抱える課題に対して、解決の糸口を探りました。アドバイザーの方々にも適切な評価をいただき、充実した講座となりました。

1. 性別による差別禁止範囲の拡大

- 男性に対する差別も禁止されます。
- 禁止される差別が追加、明確化されます。
 - ・降格、職種変更、雇用形態の変更、退職勧奨、雇止めについても、性別を理由とした差別は禁止されます。
 - ・配置に業務の配分や権限の付与が含まれることを明確化しました。
- 次に定める3つの措置について、合理的理由がない場合、間接差別として禁止されます。
 - ・募集等に当たり、身長、体重又は体力を要件とすること
 - ・コース別雇用管理における「総合職」の募集等に当たり、転居を伴う転勤に応じることを要件とすること
 - ・昇進に当たり、転勤の経験があることを要件とすること

2. 妊娠・出産等を理由とする不利益取扱いの禁止

- 妊娠・出産・産前産後休業の取得を理由とする解雇に加え、省令で定める理由による解雇その他不利益取扱いも禁止されます。
- 妊娠中や産後1年以内の解雇は、「妊娠・出産・産前産後休業等による解雇でないこと」を事業主が証明しない限り無効となります。

3. セクシュアルハラスメント対策

- 事業主は、男性に対するセクシュアルハラスメントも含めて対策を講じる義務が生じます。

○対策が講じられず是正指導にも応じない場合、企業名公表の対象となるとともに、紛争が生じた場合、調停など紛争解決援助の申し出を行なうことができるようになります。

4. 母性健康管理措置

- 事業主は、妊娠中及び出産後の健康管理に関する措置（時差出勤、勤務時間の短縮等）を講ずることが義務となっています。
- こうした措置が講じられず、是正指導にも応じない場合、企業名公表の対象となるとともに、紛争が生じた場合、調停など紛争解決援助の申し出を行なうことができます。

5. ポジティブ・アクションの推進

ポジティブ・アクション（男女間の格差解消のための積極的取組）に取り組む事業主が実施状況を公開するにあたり、国の援助を受けることができます。

6. 過料の創設

厚生労働大臣（都道府県労働局長）が事業主に対し、男女均等取扱いなど均等法に関する事項について報告を求めたにもかかわらず、報告徴収に応じない、又は虚偽の報告を行なった場合は過料に処せられます。

改正男女雇用機会均等法等の問合せは
茨城労働局雇用均等室 電話 029-224-6288へ

平成十九年度
主催事業のご案内(予定)

事業名		回数	開催時期(予定)
男女平等参画塾		7回	5月～12月
男女平等参画専門講座		1回	2月
子ども講座	絵画	12回	7月～8月
	英会話	7回	
教養講座		2回	10月
総合文化展		8回	11月
キャリアアップ講座		3回	7月
ヒューマンライフシンポジウム2007		1回	9月
男女平等参画映画祭		1回	9月
料理講習会(パーティー料理、お正月料理、男の料理)		各1回	11月～12月
新就職者研修講座		2回	2月
簿記講座		18回	8月～10月
各種講座	長期	太極拳 パッチワーク 着付 陶芸	5月～11月
		フラワーアレンジメント	5月～2月
	短期	水彩画 ビューティーストレッチ	前期11回 5月～7月
		英会話 気功 エアロビクス 料理	後期11回 9月～11月

*開催日程、募集等、詳細につきましては、広報みと、びよんどホームページ等でご案内いたします。

★びよんどでは、男女平等参画事業の推進、市民の文化教養の向上等を図るため、シンポジウムや各種講座の開催を計画しています。

男女平等参画社会推進のために・・・

○男女平等参画苦情処理委員会

男女平等参画に関する苦情の申し出を、公平・中立な立場に立って調査し、解決を図っていきます。詳細は、水戸市男女平等参画推進室までお問い合わせください。

○男女平等参画推進委員会

男女平等参画社会の推進のために設置された、市民・事業者・学識経験者から構成される委員会です。総合的な施策と重要事項を調査審議します。

・男女平等に関する・

相談窓口

家庭内暴力・セクハラ・人間関係の悩みなど、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。

○相談日時 毎週木・土曜日 午前9時から午後3時まで

○相談員 男女平等に関する相談員

○設置機関 水戸市男女平等参画推進室

○相談場所 水戸市五軒町1-2-12

水戸市男女文化センター「びよんど」内の相談室

○相談専用電話 **029-233-7830 (ナヤミゼロ)**

※来所、電話どちらでも可(予約不要)。なお、相談料は無料です。



でた de 女・性・問・題 DATA

総合職に男性のみ、一般職に女性のみを採用した企業の割合

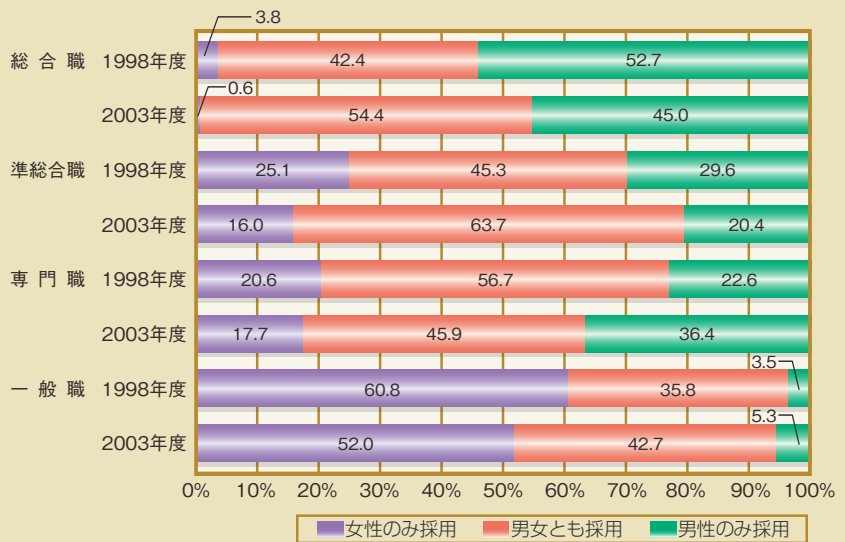


コース別雇用管理は、均等法の施行前後に大企業を中心に導入され、現在では中堅企業にも広がっています。コースごとの採用状況を見ると、2003年に、総合職に男性のみ、一般職に女性のみを採用した企業はそれぞれ5割前後におよび、実質的に男女別雇用管理として機能しているという指摘があります。

今回の男女雇用機会均等法の改正では「間接差別の禁止」は盛り込まれましたが、行政指導の対象は身長、体重、転勤による差別など3例だけで、雇用管理区分は含まれません。今後改正均等法の実効性が注目されます。

資料：男女共同参画統計データブック
(独立行政法人国立女性教育会館)

コースの内容別新規学卒者採用状況の推移



注 「総合職」は、企画的業務に従事し、全国的規模の転勤のあるコース。「準総合職」は、企画的業務に順ずる業務に従事するものの、転居を伴う転勤がないまたは一定地域内のみ転勤があるコース。「専門職」は、専門的業務に従事するコース。「一般職」は定型的業務に従事し、転居を伴う転勤のないコース。
出所 厚生労働省「女性雇用管理基本調査」より作成

男女共同参画都市宣言

美しい自然に恵まれ豊かな歴史を育んできた、わたしたちのまち水戸
わたしたちは、水戸のまちをさらに輝きあふれる明日へとつなぐため、「平等・創造・平和」を基本理念とし、男女がともにわかちあい、ともにつくる社会の実現に向け、水戸市を「男女共同参画都市」とすることを宣言します。

- 1 わたしたちは、ともに一人ひとりが尊重しあい、平等のもとに生き生きと暮らせるまち水戸をつくります。
- 1 わたしたちは、ともに自らの意思で社会のあらゆる分野に参画し、次の世代へとつなぐ豊かでゆとりのあるまち水戸をつくります。
- 1 わたしたちは、ともに地球環境を守り、世界へ向けて、友情と平和の輪を広げるまち水戸をつくります。

平成8年4月1日

水戸市

編集後記

今回の取材をしていて、「天職」という言葉が頭に浮かびました。現実には誰もが自分にぴったりの職業にめぐり合えるわけではありませんが、少しでも理想に近づくことは可能です。仕事に限らず、何かを始めるのに遅すぎるということはないのかもしれない。新しい季節を迎えるにあたって、前向きな気持ちになることができました。

- 発行日／平成19年3月
- 編集・発行／水戸市市長公室男女平等参画推進室
〒310-0063水戸市五軒町1丁目2番12号
水戸市男女文化センター「びよんど」内
TEL 029-226-3161
FAX 029-226-3162
- ホームページ／<http://www8.ocn.ne.jp/~beyond/>
- 印刷／常磐総合印刷株式会社
- 表紙絵／七字純子